



報道関係者各位  
プレスリリース

2021年5月26日  
株式会社ノックバックワークス

**全国のヤッターマンファンのみなさ～ん！**  
**『ヤッターマン ～激走レースに挑戦だコロ～』**  
**本日よりサービス開始よ～！ ポチっとなア～！！**

株式会社ノックバックワークス(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:秋山隆利、以下ノックバックワークス)は、「LICENSE AD NETWORK」向けゲームとして、2021年5月26日より、iOS/Android向けカジュアルゲーム『ヤッターマン ～激走レースに挑戦だコロ～』のサービスを開始します。

『ヤッターマン ～激走レースに挑戦だコロ～』は、少し時間が空いた時/移動時に、簡単操作で手軽に遊べるカジュアルレースゲームです。

このゲームは、ヤッターマンに登場する主要キャラクター達と、コース上に配置されているギミックを回避し、うまく妨害アイテムを活用しながら1位を目指します。ステージは、城下町ステージ/ジャングルステージ/冬ステージの3つがあり、それぞれ周回コースと直線コースの2種類が存在しています。また、周回コースの場合は2周すればゴールとなり、周回コースか直線コースか、またステージがどこになるかは、プレイするごとにランダムで設定されます。



レースをゴールした際には、順位によってポイントが獲得できますが、ポイント数は順位によって異なります。また、このポイントでキャラクターを購入することができます。

操作	コース	ギミック	アイテム	ポイント獲得
<p><b>遊び方</b></p> <p><b>操作</b></p> <p>画面をタップした状態で前方へスライドすると走り出します。左右に動かすと、動かした方向に走ります。</p>  <p>1 / 5</p>	<p><b>遊び方</b></p> <p><b>コース</b></p>  <p>2 / 5</p>	<p><b>遊び方</b></p> <p><b>ギミック</b></p> <p>コースには進行を邪魔する様々なギミックや、有利な状況へ導くギミックが設置されています。回避したり、うまく利用したりしましょう。</p>  <p>3 / 5</p>	<p><b>遊び方</b></p> <p><b>アイテム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用すると、周辺に電撃が発生。電撃に当たったキャラクターは、一定時間 STUN 状態になる。</li> <li>使用すると、他キャラクターの足元が爆発する。爆発すると上方へ大きく吹き飛ばす。</li> <li>使用すると、軌跡の煙が発生。煙に触れた他キャラクターは、一定時間 SLOW 状態になる。</li> <li>使用すると、キャラクターの足元に光をオーラが発生。一定時間移動速度がアップする。</li> </ul>  <p>4 / 5</p>	<p><b>遊び方</b></p> <p><b>ゴール</b></p>  <p>5 / 5</p>

## ■プレイ可能なキャラクター達

ゲームスタート時に選択できるキャラクターは、「ヤッターマン 1号」のみとなりますが、ゲーム内で獲得できるポイントで、下記のキャラクター達を購入すれば、各キャラクターでのプレイが可能になります。(※注:ポイントだけではなく、課金による購入も可能となっています。)



## ■タイトル情報

タイトル名:『ヤッターマン ～激走レースに挑戦だコロン～』

OS :iOS/Android

カテゴリ :カジュアル/レース

価格 :基本プレイ無料(一部有料アイテム有)

©表記 :©タツノコプロ

## ■ストア URL

App Store:<https://apps.apple.com/app/id1561691034>

Google Play:<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.ipcasual.jp.kbw.yattamanrun>

## ■ヤッターマンとは

タツノコプロが制作したテレビアニメーションで、1977 年に「タイムボカンシリーズ」の 2 作目としてテレビ放映されていた。その後、2008 年にリメイクされた。

上記以外にも、2009 年の実写映画化や、2015 年には「夜ノヤッターマン」、日本テレビ系列『ZIP!』内の「あさアニメ」として 2015 年～2016 年までコーナーアニメとして放送されるなど、長年に渡ってファンに愛され続けているアニメーションである。

## ■LICENSE AD NETWORK【LAN】について

このサービスは、IP ホルダー各社から提供された IP のカジュアルアプリを、開発会社を通じて制作し、それらのアプリタイトルを「LICENSE AD NETWORK」でつないでいくことで、アニメやゲーム、出版などに興味を持つユーザーにリーチし、新しい広告事業の形として展開します。

これにより、“展開の幅を広げたいという既存のキャラクターIP”や、“作品自体の認知を上げたいという新作のキャラクターIP”を保有する IP ホルダー各社と、オリジナルのアプリエンジンやフレームなどを有しているアプリ開発会社とのマッチングを行ない、IP 作品をモチーフとしたカジュアルアプリの提供と広告展開をはかることで、スマホアプリ市場だけでなくアニメやゲーム、出版などの市場活性化を目指していきます。